

牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに関する意見交換会 開催結果概要

1 中予地方局（松山市）

- (1) 日 時：平成25年5月22日（水）13：00～
- (2) 出席者：114名
- (3) 主な質問等：
 - ・ アメリカ産牛肉を輸入しやすくするために、国内における牛の検査対象月齢を緩和したのではないか。
 - ・ 対象月齢を引き上げた上で検査を継続するという事は、飼料規制の確認及び非定型BSEへの対応のためと認識してよいか。
 - ・ 全頭検査を継続した方がより安心できる。

2 南予地方局（宇和島市）

- (1) 日 時：平成25年5月23日（木）13：30～
- (2) 出席者：89名
- (3) 主な質問等：
 - ・ 全頭検査はいい制度だと思うが、なぜこの時期に検査対象月齢を見直すのか。経費の問題や検査の必要性がないという理由での全頭検査見直しは、消費者の安心を得られない。
 - ・ BSEの問題については、消費者はさほど気にしていない。

3 総合科学博物館（新居浜市）

- (1) 日 時：平成25年5月24日（金）13：30～
- (2) 出席者：111名
- (3) 主な質問等：
 - ・ 48か月齢超の牛の肉は、どのような用途として使われるのか。
 - ・ BSEの発生機序と肉骨粉の関係性はどのようなものか。
 - ・ 適切な飼料規制によりBSEの国内発生もなく、国際的にも日本が「無視できるリスク」の国となることがよく理解できたので、全頭検査を見直すのであれば、県民への十分な説明と全国一斉での見直しを願います。

4 今治市民会館（今治市）

- (1) 日 時：平成25年5月27日（月）13：30～
- (2) 出席者：57名
- (3) 主な質問等：
 - ・ 全頭検査を見直し、検査対象月齢を48か月齢超とすることについては理解できた。
 - ・ 検査対象月齢を48か月齢超とした場合、削減できる予算をよりリスクの高いO157対策等に回してほしい。

5 八幡浜支局（八幡浜市）

- (1) 日 時：平成25年5月28日（火）13：30～
- (2) 出席者：51名
- (3) 主な質問等：
 - ・ 検査対象月齢が48か月齢超となった場合においても安心であるということが理解できた。
 - ・ 北海道、宮崎県、鹿児島県等の畜産県が全頭検査を継続することとなった場合、愛媛県ではどのように対処するのか。

アンケート結果（5会場合計）

問1 BSE対策の見直しに係る食品影響評価について、理解できましたか。

1	よく理解できた	15.7%	
2	ほぼ理解できた	32.0%	
3	まあまあ理解できた	43.3%	
	<u>おおむね理解できた人の割合</u>		<u>91.0%</u>
4	あまり理解できなかった	8.7%	
5	全く理解できなかった	0.3%	
	<u>あまり理解できなかった人の割合</u>		<u>9.0%</u>

問2 今日の意見交換会に参加される前に疑問に思っておられたことや質問したいことは、この意見交換会で明確になりましたか。

1	とても明確になった	11.1%	
2	ほぼ明確になった	29.5%	
3	まあまあ明確になった	38.2%	
	<u>おおむね明確になった人の割合</u>		<u>78.8%</u>
4	あまり明確にならなかった	6.9%	
5	さらにわからなくなった	1.7%	
	<u>あまり明確にならなかった人の割合</u>		<u>8.7%</u>
6	疑問に思うことや質問はなかった	12.5%	